

歯周病という言葉をご存じですか？

テレビでの歯磨き粉・歯ブラシのCMで聞いたことがあるな・・・と、思い出すことが多いのではないのでしょうか。

歯周病は細菌感染による慢性の炎症です。成人の約8割が歯周病になってるといわれており、初期症状には痛みなどの症状がないため、ほとんどの人に自覚はありません。

しかし、実は歯を失う最大の原因は歯周病で、虫歯が原因であることよりも多いのです。

進行すれば膿が出たり歯がグラグラしてぬけ

てしまうことはよく知られてますが、最近の研究により様々な生活習慣病と関係があることがわかってきました。

今回はその1つの糖尿病との関係についてお話します。



あまり知られてはいませんが、実は歯周病は糖尿病の合併症の1つと言われるほど深い関連性があります。

血糖正常値の人よりも糖尿病患者の歯周病発症率は2倍以上といわれており、歯周病の重症化により血糖コントロールが悪くなる悪循環につながります。これは糖尿病になると細菌に対する抵抗力や組織の修復力の低下・口腔内の乾燥などが生じるためです。

歯周病の症状とセルフチェックをして該当がある人は早めの歯科受診をする、症状がない人も初期段階で治療ができるよう定期受診をしてみてもいいでしょうか？

簡単セルフチェック

いずれか1つ以上に該当する場合は歯科受診を勧めます。

- ・喫煙者の方
- ・歯周病の症状がある方；歯茎が腫れる、歯茎からの出血がある、歯がグラグラしている、口臭が気になる方
- ・糖尿病罹患がある、または健診などで血糖値が高いと指摘されたことがあるが歯科に定期受診をしてない方

上記のチェック項目にあてはまらなくても、気になる症状があれば、歯科医に早めに相談してみてくださいね。

さくら薬局